

東京女子医科大学病院に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 メチシリン感受性黄色ブドウ球菌の感染性心内膜炎・中枢神経合併症のピクシリンS（アンピシリン/クロキサシリン配合剤）24g/日による治療の検討

【研究機関】 東京女子医科大学病院感染症科

【研究責任者】 戸塚 恭一 東京女子医科大学 感染症科 教授

【研究の目的】

黄色ブドウ球菌の菌血症の背景や治療方法、予後などを明らかにするため
ピクシリンSによる黄色ブドウ球菌の菌血症の治療効果の検討

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2000年1月から2012年4月までの間に東京女子医科大学で血液培養、髄液培養検査をうけ血液、脊髄液を含む無菌部位より黄色ブドウ球菌を検出したすべての方

●利用するカルテ情報

年齢・性別・基礎疾患・既往歴・手術歴・診断名・入院までの経過・入院後の経過・抗菌薬使用歴・抗真菌薬使用歴・その他の薬剤使用歴・中心静脈カテーテル使用歴・画像診断結果・血液検査結果・一般検査結果・全培養検査結果・全病理診断結果・入院後30日・90日での予後・剖検例については剖検結果

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

【問い合わせ先】

東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学病院感染症科 担当医師 平井由児

電話 03-3353-8111 FAX 03-3358-8995